Vol.08
2026.10

錦糸町まちづくりニュース

錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会で『すごす』『ささえる』を検討しました！

錦糸町のまちづくりの羅針盤となる行政計画の策定に向け、「第４回錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会」を開催しました。

今回は、皆様から選ばれる地域の魅力向上に資する都市環境づくり『すごす』とまちの個性を未来へと繋ぐ安全・安心で柔軟な体制・ルールづくり『ささえる』についてご意見をいただきました。

第５回では、錦糸町まちづくりグランドデザインにおけるコンセプト案などについて、委員の皆様からご意見をいただきます。

■錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会の進捗状況と今後の進め方

第４回　テーマ「すごす」「ささえる」

まちにおける住む／働く／楽しむ・憩うの連携、支援や地域のルール、防災対応等について検討しました。

すごす（まちの滞在）　ささえる（まちの運営）

※11月７日（土）「錦糸町オータムフェス」を開催します！詳しくは、裏面をご覧ください。



※パブリックコメントを第7回以降に予定しています。

＜主な意見＞
- 子どもから大人まで安心して勉強や仕事ができる墨田区ならではの店舗が入っている交流スペースが必要
- 錦糸町のまちの個性を活かしたまちづくりが行われると人が集まり、訪れたいまちになる
- リノベーションを進めるといったまちの仕組みができると将来にわたって住めるまちになる　など


委員会の様子

魅力あふれる錦糸町のまちについて伺いました！

今回は、商工業の総合的な発達と社会一般の福祉の増進を目的に、経営支援・政策・地域振興などの活動をされている東京商工会議所墨田支部の会長であり、ご自身でロックバンドを結成し、音楽フェスなどで演奏を披露している、老田勝（まさる）氏に錦糸町のまちのイメージについて伺いました。


東京商工会議所
墨田支部
会長　老田　勝　氏

錦糸町は、商業・飲食・文化・オフィス・公園などが混在する「ミニ東京」のようなまちです。「楽しいカオス」であるサブカルチャーや夜の娯楽をうまく活用できる仕組みができれば、より魅力的で活気あるまちになると思います。

１１月７日（土）「錦糸町オータムフェス」開催！！！

錦糸町のまちづくりのテーマである『すごす』『めぐる』『ささえる』の検証として、１１月７日土曜日に、「錦糸町オータムフェス」を開催します。当日は、４つのイベントを同日に実施しますので、皆様のご来場をお待ちしています。

▲墨田区 HP は こちらから

きんしぼり公園であそぼー！３
【時間】10 時～ 15 時
【場所】錦糸堀公園（江東橋４－17 － 1）
※雨天の場合、竪川親水公園で実施
（荒天中止）

竪川親水公園でニュースポーツ体験！
【時間】10 時～ 15 時
【場所】竪川親水公園
（江東橋４－１－３付近）
※雨天の場合でも実施（荒天中止）

錦糸町ノスタルジー
ー楽天地の写真が綴る、街の記憶ー
【時間】11 時～ 21 時
【場所】楽天地ビル１階仲通路
（江東橋４－27－14）

錦糸町グルメガチャ
【時間】17 時～
【場所】錦糸町駅周辺飲食店
【チケット申し込み締切】
10 月 23 日（金）で
終了しています。

墨田区商店街連合会 HP▼

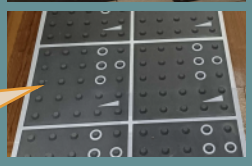


「しゃべる点字ブロック」の敷設が完了しました！

先進的な取組みとしてVol. 2でご紹介した「しゃべる点字ブロック（コード化点字ブロック）」が今年７月３０日に国内の商業施設として初めて楽天地ビルに導入されました。丸印や直角三角形のマーキングを施した点字ブロックをスマートフォン専用アプリで読み取ると、音声により現在位置や周辺情報、避難・防災を案内する画期的な仕組みとなっています。

今回、区役所で就業体験をしている学生（インターン生）２名がコード化点字ブロックを見学し、担当者へインタビューを行いました。

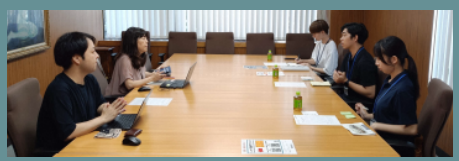




“前方は下りエスカレーター、トイレ方向です。”と音声案内があります。

商業施設担当者コメント

視覚障がい者だけでなく、困った際には誰もが利用できることの認知向上と、錦糸町が気軽に訪れやすく楽しめる場所として発信できると良いと思います。



インターン生感想

- 視覚障がいを持った方だけではなく、地図を読むことが苦手な方も行きたい場所に導いてくれるシステムだと感じました。
- 錦糸町が視覚障がいの方も気軽に訪れ、より自由に楽しめる場所になればいいなと感じました。

※「しゃべる点字ブロック」紹介 HP

発行元・問合せ：墨田区 都市整備部立体化・まちづくり推進担当 まちづくり調整課
MAIL：machichou@city.sumida.lg.jp
TEL：03-5608-1593